武蔵野音楽大学 公的研究費の不正使用防止に関する 基本方針

令和4年11月1日

武蔵野音楽大学は、「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン（実施基準）」に基づき、公的研究費の適正な運用・管理を行うため、不正使用防止に関する基本方針を定め、必要な体制を整備する。

1. 責任体系の明確化

(1) 最高管理責任者

最高管理責任者は、本学全体を統括し、公的研究費の運営・管理について最終責任を負うものとし、その任には学長をもって充て、具体的には以下に定める職責をはたす。

ア 不正使用防止に関する「基本方針」を策定・周知するとともに、それらを実施するために必要な措置を講じる。

イ 統括管理責任者（下記（2））及びコンプライアンス推進責任者（同（3））と連携し、上記「基本方針」に則り、公的研究費の運営・管理にあたる。

(2) 統括管理責任者

統括管理責任者は、最高管理責任者を補佐し、公的研究費の運営・管理について全体を統括する実質的な責任と権限を持つものとし、その任には総務部長をもって充て、具体的には以下に定める職責を果たす。

ア 不正使用防止の組織横断的な体制を統括する責任者として、前記「基本方針」に基づき、組織全体にわたる具体的な対策を策定・実施する。

イ コンプライアンス推進責任者と連携をとりながら、不正使用防止のための啓発活動と教育を計画する。

ウ 不正使用防止対策の実施状況を確認するとともに、その内容を最高管理責任者に報告する。

(3) コンプライアンス推進責任者

コンプライアンス推進責任者は、統括管理責任者の指導の下、公的研究費の運営・管理に関する諸施策の実施・確認・教育・モニタリング等について実質的な責任と権限を持つものとし、その任には総務部総務課長をもって充て、具体的には以下に定める職責を果たす。

ア 不正使用防止を図るため、学内の公的研究費等に関わるすべての構成員に対し、所要のコンプライアンス教育の措置を講ずる。

イ 上記に係る諸施策を管理監督し（学内研修等の受講状況の確認等を含む）、その内容を統括管理責任者に報告する。

2. 適正な運用・管理の基盤となる環境の整備

公的研究費の取扱いに係るガイドブック等の整備、学内研修や説明会等の実施、その他の施策につき、公的研究費等の運営・管理に関わるすべての構成員にとって分かりやすいルールを明確に定め、かつ、そのルールは、各構成員の職務内容や権限・責任に応じた効果的で実効性のあるものとして設定されているか、設定されたルールと運用の実態との間に乖離が生じていないか、その適切なチェック体制が保持されているか等の観点から、常に見直しを行う。

3. 不正を発生させる要因の把握と不正使用防止計画の策定・実施

公的研究費の使用に係る不正を未然に防止するため、研究活動において不正使用を発生させる要因を予め把握した上で、「不正防止計画」を策定し、随時、その実施状況の把握とモニタリングを実施し、不正が懸念される事象を検出した場合には所要の調査を計画し実行するものとする。

最高管理責任者は、研究不正等に係る問題に率先して対応する旨、組織内外に表明するとともに、自ら「不正防止計画」の進捗管理に努めるものとする。

4. 公的研究費の適正な運用・管理活動

物品等の購入に係わる不正を防止するため、当事者以外の事務職員等が納品チェックを行う。また、不正な取引に関与した業者に対しては、取引停止等の処分を科す旨を定める。

5. 情報発信・共有化の推進

公的研究費の不正使用等に関する通報に対応するため、本学総務部総務課に窓口を設置し、情報が適切に伝達される体制の構築に努める。

また、「武蔵野音楽大学公的研究費取扱規則」を本学公式ウェブサイトにて公開すること等を通じて、不正使用等に係る調査の手続、通報者の保護や関係者の守秘義務について、公正かつ透明性の高い運用を図る。

6. モニタリング体制の整備

公的研究費の適正な管理を行うため、監事と連携しながら公的研究費等に係わる内部監査担当がモニタリング及び監査を行う。